

同元町会だより

2023年(令和5年)10月

文責 寺田 肇 監修 齋藤 厚

♪ふるさと♪に思いを重ねて—2023年度 敬老大会終わる

9月18日、茂森町のサンパレス秋田屋において、久しぶりに敬老大会が開催されました。初めに100歳到達者・88歳到達ご夫婦、次に90歳到達者・80歳到達ご夫婦が紹介され、祝福を受けました。その後、式辞や祝辞、そして祝文が披露され、前半の式典が終わりました。後半の祝賀会も和やかな雰囲気でも盛り上がり、笑顔で交流を深め合い、締めくくりは、♪ふるさと♪の合唱でした。



うさぎおいし かの山
こぶなつりし かの川
夢はいまも めぐりて
忘れがたき ふるさと
75歳を過ぎたお一人一人
が、来し方の思いを歌に重
ね、心を込めた歌は圧巻で

した。普段意識もしない、同じくらいの年齢を重ねた方々の束の間のひと時が、とてもかけがえのないものに思えた瞬間でもありました。年を取ることは、個に戻って行くことかもしれません。でも、顔を合わせ、一緒に食べたり、飲んだりする当たり前のことが、とても大事なことのようになってきました。

今年の同元町会の参加者は5人でした。介助のために、町会長さんご夫妻が参加され、世話役として民生委員の さんが参加されました。なかなかとなり近所でもお話ができない昨今です。来年はあなたも参加してみませんか。



社会福祉部長さんより

町内では、今年、次の方々に長寿のお祝いを差し上げました。

・米寿(88歳)ー 様 ・傘寿(80歳)ー 様、 様、 様、 様

・喜寿(77歳)ー 様

デイサービスに行かれご不在の方、昨年から施設に入所されている方には、ご家族にお渡しし、お会いできたのは3名様でしたが、皆様とてもお元気なご様子で、希望されたお菓子や日用品を受け取っていただきました。本当におめでとうございます。

子どもたちは 今

町会の皆様方にもご支援いただいた、朝陽小学校の「創立150周年記念式典」が、『150年の歴史をつなぐ朝陽(あさひ)の子 未来へ届け みんなの笑顔』をテーマに、9月30日、弘前市民会館で開催されました。式典は、朝陽讃歌が流れ、子どもたちの「児童宣言」で始まりまし



た。山本校長先生の、創立当時の詳しい歴史の紹介と「笑顔あふれる心のルーを、共に手を携えて繋いで行きましょう」のメッセージが込められた式辞、桜田市長さんからは「地域に支えられ、先駆的な活動をしてきた伝統をこれからも！」という祝辞をいただき、子どもたちの発表に移りました。「代々受け継がれる朝陽のバトン」という大きなテーマで、6・5学年は、「小学校の歴史と生活、先輩の方々」を紹介し、1・2学年は、「学校や町の大好きなところ」を歌や踊りで披露し、3・4学年は、「りんごとさくら、四季のまつり」と、弘前の魅力を表現しました。朝陽小のこれまでの道程を、子どもたち自身の力でたどった素晴らしい発表だったと思います。最後は全校で「ぜんぶ」を合唱し、「ふるさと」を観客と共に歌って、節目の心に残った式典が幕を閉じました。

町内作品展ご覧いただけただけでしょうか。町内の方々の様々なご趣味や作品を、時折紹介させていただきます。今回は、葛西さんの短歌です。

葛西

地球上に
住む価値あるや
九十五歳の吾れ
二度と生まれる
事なき世界
長らへば
良き事多く
重なりて
少し此岸に
いさせ給へと

ときどき
文化コーナー